

あべともこニュース



何よりも命と食糧の安全保障を

◆米はたから、しっかりと自給を。

昔小学校唱歌の一節に、「米は宝だ、宝の草を、植えりや黄金の花が咲く」とありました。お米は大事な日本の主食、そして食糧自給率が38%と少ない今日でも、お米だけは何とか自給できると思われてきました。そこに降って湧いたような令和の米騒動、「スーパ―の棚にお米がない!」と大騒ぎに。でも政府は米不足ではない、生産量は落ちていない、だから備蓄米は出さないう、新米が出るまで待って、と言いますが、出て来た新米の値段は5kg三千円と今までの1.4倍!では、消費者も大変です。

そもそも減反政策で米を作らせない、米不足には備蓄米、その上ミニマムアクセス米の輸入、これら全ての誤った農政を根本から見直して、まず農家の所得を国が保障し、しっかりと宝の米を作るというのが立憲民主党の政策です。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、厚生労働委員会 原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ 公式X(旧Twitter) @abe_tomoko

あべともこ事務所 公式Facebookページ https://www.facebook.com/abetomoko.jp

あべともこ 検索

◆ワクチン休戦から本格停戦へ

昨年10月からイスラエルとイスラム組織ハマスとの激しい戦闘が続くパレスチナのガザ地区で、9月1日から10歳未満の子どもたち64万人にポリオワクチンを接種する為に、休戦が行われています。

イスラエルによるジェノサイド、子どもたちや女性たちをも無差別に攻撃対象とした空爆によって、この10ヶ月余りで既に4万人以上の死者があり、その4割が子どもであることは、国連のグテレス事務総長の子どもの墓場という表現にも端的に表れています。

この戦闘の非人道性は、国際司法裁判所からもイスラエルに対してジェノサイド防止命令が出されていますが、これまで全く聞く耳を持ちませんでした。ここに来てポリオが発生して、放置すれば地域全体に感染が広がるとの判断で、世界保健機構WHOが休戦とワクチン接種へと道を開きました。テドロス事務局長のいう様に、子ども達の命を救う「最良のワクチンは平和」なのです。休戦が停戦に続く事こそ不可欠です。

◆立憲民主党代表選挙!

7日、立憲民主党の代表選挙が告示されました。

(届出順で) ①野田佳彦元首相 ②枝野幸男前代表 ③泉健太代表 ④吉田晴美衆議院議員の4名が立候補、これから各地で政策論争・街頭演説会を実施し、23日の党大会で新代表が選出されます。

あべともこは、新人、女性議員で出馬した吉田候補の推薦人として、立憲民主党政結党以来のジェンダー平等とポトムアップの政治の実現に向けて、共に活動していきます。またこの出馬の背景には、同じく立候補を目指した江田憲司衆議院議員と合意した食料品の非課税が重要政策と言えます。

また、吉田候補は「教育×経済」国民生活の底上げ!」をマニフェストに掲げていますが、原発ゼロも同様に阿部とも子とも通じます。

今、求められているリーダー像は何か?ぜひ代表選にご注目ください!

	野田佳彦氏	枝野幸男氏	泉健太氏	吉田晴美氏
政治改革	世襲制限	政策活動費の透明化	政治資金支出の上限規制	政治資金収支の監査導入
外交・安保	防衛増税はしない	日米地位協定見直し	堅守防衛	集団的自衛権は違憲
消費税	税率引き下げには慎重	インボイス制度廃止	景気低迷時の税率引き下げも選択	5%への期限的な税率引き下げ。食料品は非課税
原発	原発ゼロの理想を掲げながら現実的に対応	再稼働を一切認めない立場には立たない	安全対策などを全てクリアすれば、動かすはよい	一日も早く原発ゼロ実現
野党連携	野党勢力の最大化へ、どの党とも対話環境を作る	国民民主と連立強化。維新・共産と包括的な連携は困難	国民民主と連立を想定。共産と政権を担うのは困難	選挙協力が必要

※公約や記者会見での発言などから作成

出典; 東京新聞、20240908